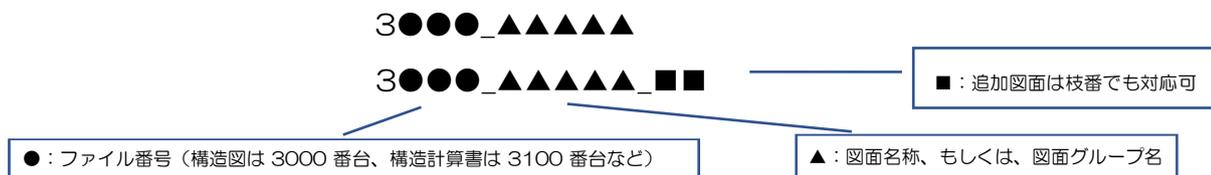


【構造図書】 電子図書 (PDF) の構成について

電子図書 (PDF) の構成等について、下記具体例のような、データの構成・分割に、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 共通確認事項

- PDF のファイルは、審査側でメモ書きできるよう、プロテクトがかからない形式でデータ化をお願いします。
- PDF の解像度は 300dpi 以上として下さい。
- 図書は A4 版または A3 版での印刷に対応した PDF として下さい。
- PDF は可変性がない状態として下さい。
→PDF に直接書き込みを行った場合、PDF を再度 PDF として出力等の処理をして、可変性のない状態として下さい。
- 受信 (アップロード) について、ファイル数には制限がありませんが、データ容量は操作性の良さを考慮して 1 ファイルあたり 50MB を目安に分割のご協力をお願いします。
- 電子申請では、事前申請 (事前審査) 時・本申請時ともに、補正を行う場合は、データファイル毎の補正・更新となります。**
- 分割したファイルには、以下のルールで、ファイル名を作成願います。



2. 「構造図」の構成例について

- 構造図 (PDF ファイル) の構成は、設計者が作成する図面構成としていただいて構いません。

ファイル番号	図面名称 (図面グループ名称) 例
3001	構造図一式 (容量が大きい場合や、構成を分けたい場合はファイル番号・名称を記載して追加して下さい。)

3. 「構造計算書」の構成例について

- 構造計算書 (PDF ファイル) の構成は、設計者が作成する構造計算書の構成としていただいて構いません。

ファイル番号	項目 例	備考
3101	構造計算書一貫計算以外	計算書表紙を含む、一貫計算書以外の部分。セクション毎にファイルに分けて頂いても問題ありません。(二次部材、基礎等)
3102	一貫計算書	入力データを含む、一貫計算書データ
3103	地盤調査報告書	ファイル番号3101、一貫計算以外のデータに含めても問題ありません。

4. 電子データの送付先 kakunin-kouzou@gbrc.or.jp